

# 第1号議案

## 令和4年度事業報告について

### 令和4年度事業報告

#### 〔 概 要 〕

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症禍が継続したが、ウィルスの弱毒化が進み、それに伴ってウィズ・コロナへの取り組みも進展し、当協会の主要事業である、4ブロック研修会、ぐんま環境フェスティバルを開催することができました。

新型コロナウイルスの感染症区分が第2類から第5類への移行が決まり、これからは普段の生活に戻る過程にあると確信できました。

事業計画は、一部を除き計画通りに実施でき、この3年間では充実した一年になったことは、大変喜ばしく思います。



令和4年度定時総会



第22回ぐんま環境フェスティバル

# 令和4年度事業報告

## [主 事 業 概 要]

### 1. (各支部)令和4年度第1回研修会 ー開催中止ー

例年開催しています各支部組織による研修会は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により集合研修は開催出来なかった。

例年、支部総会に先立ち開催しているが、支部により集合しての支部総会を開催に代わり、書面決議での開催となったため、第1回研修会は開催を見合わせた。

### 2. (各支部)令和3年度定時総会開催

新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言下、集合しての支部定時総会は開催できず、書面決議での開催となった。

各支部令和4年度定時総会の議事は、「本部事業決算統一化」遵守しての

- ①令和3年度 事業報告・事業収支報告
- ②令和4年度 事業計画(案)・事業収支(案)
- ③その他事業報告

令和4年度各支部定時総会の上程議案は慎重審議され書面決議をもって各支部定時総会承認となった。

### 3. (本部)令和4年度定時総会

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年に引き続き出席者を可能な限り限定し、協会の皆様には、委任状での参加をお願いしての開催となった。

#### [ 定 時 総 会 次 第 ]

※(司会)事務局 吉野 一成 事務局長／多原 百合恵 職員による進行  
※開催成立有効定足数の確認。全員出席者数、委任状数により開催成立する。

1. 開 会 の 辞
2. 協 会 長 挨 拶
3. 来 賓 祝 辞
4. 来 賓 紹 介
5. 議 長 選 出
6. 議事録署名人の選任
7. 議 事  
第1号議案 令和3年度事業報告  
第2号議案 令和3年度収支決算並びに監査報告について  
第3号議案 令和4年度事業計画(案)承認について  
第4号議案 令和4年度収支予算(案)承認について  
第5号議案 その他
8. 閉 会 の 辞

令和4年度定時総会は限定されたご来賓のご臨席と協会員企業、協会長の出席にて開催され、全ての上程議案を承認可決し、無事終了した。

#### 4. (本部)令和4年度第1回研修会 ー開催中止ー

##### [概要]

定時総会に先駆け、例年環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課 課長を講師に招き、講演を開催していたが、昨年度同様新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催中止とした。

#### 5. 組織の拡大・拡充促進について

公益法人移行後11年、当組織のテーマである「信頼・協調・自立」を念頭に、更なる組織・業界の充実・健全化を目指し「本部事業決算統一化遵守」による組織運営は基より、優良事業者推進に関する会員加盟勧誘活動の積極的展開を図った。

#### 6. 労働安全衛生体制の整備確立の推進について、及び、 労働安全衛生研修会の4ブロック研修会内での開催について

上部団体の(公社)全国産業資源循環連合会と連携し、全国の産業廃棄物業界内で発生した労働災害情報を共有し、同様の労働災害を発生させないための啓発活動を展開した。

令和3年は、4件の労働災害事例を共有することにより労働安全衛生への取組みと実践の重要性を再認識するべく積極展開を図った。

また、群馬労働局より講師を招いて「労働安全衛生研修会」開催は新型コロナウイルス感染症が減少した時期、4ブロック研修会に組み込んで開催した。詳細につきましては「8. (県共催)産・官・学 連携 令和3年度4ブロック研修会開催について」で報告。

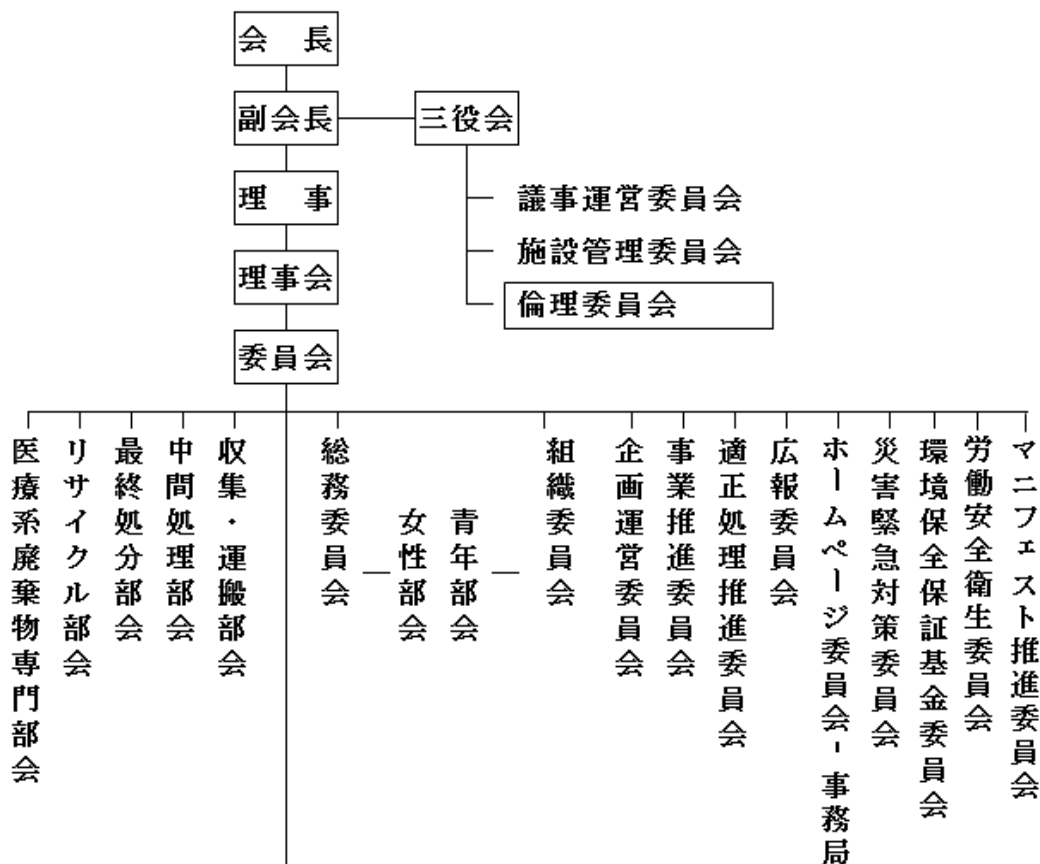
#### 7. 公益法人組織の事業に関する積極的展開について

本協会では協会の事業運営を円滑に遂行を図ることとし組織体制に各委員会を設置、各委員は協会長が委嘱する。

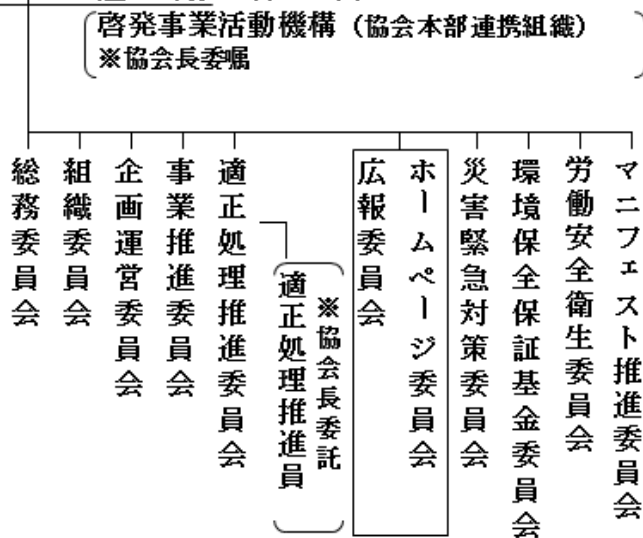
委員会は各主務内容の推進のため、委員会規則に各委員名並びに主務内容を分担し業務の遂行を図った。

# 組織体制機構編成図

## 【本部】 組織体制



## 【支部】 組織体制



組 織 機 構  
委 員 会 規 則

〔前 文〕

本協会では、協会の事業の運営を円滑に遂行を図ることとし、次の組織体制に各委員会を設ける。

※委員は協会長が委嘱する。

委員会は、各々主務内容の推進のため、本委員会規則に各委員会名並びに主務内容を分担し業務の遂行を図る。

委員会名	主務内容
環境保全保証基金委員会	・環境保全保証基金の運営管理並びに県行政との共催基金事業の実施 ・事前調査・事業実施管理運営
施設管理委員会	・環境教育施設並びに処理施設確保に係る優良モデル事業化の促進対策及び実施に係る関係機関・関係団体との連携による事業推進
倫理委員会	・組織の健全化推進に関する会員の資質研鑽、モラル向上に係わる審議指導
議事運営委員会	・上程議案の検討審議資料作成並びに議事円滑化運営
総務委員会	・組織規程・財務計画の立案、事務管理 ・後継者の指導等育成並びに連携事業の促進等
組織委員会	・組織の拡大拡充、入会者加盟促進啓発 ・入退会者並びに変更に関する調査審議 ・組織の健全化に係る会員資質向上及び組織の統一運営
企画運営委員会	・講習会・研修会・啓発イベント等、協会の事業計画の立案作成及び事業企画運営
事業推進委員会	・事業計画に基づく普及啓発イベント等事業運営推進 ・関係機関、関係団体と連携促進
適正処理推進委員会	・適正処理の推進に係る処理システムの確立を図る ・組織に廃棄物適正処理推進委員12支部6名(計72名)を協会長が委嘱 ・行政機関、関係機関と連携し不適正処理・不法投棄防止の巡視・啓発推進
広報委員会	・組織運営に係る情報収集提供・機関誌の発行 ・普及啓発活動・関連事業実施時等の報道機関との連携促進
ホームページ委員会	・協会の情報公開のためのホームページ運営並びに業務効率化、情報基盤の強化を目指した組織会員相互の情報網の構築、整備を図る
災害緊急対策委員会	・国、県並びに市町村と連携し、地域社会に密着し災害時における災害廃棄物の緊急処理保管施設の確保、設置 ・災害廃棄物の適正処理の円滑化、的確な環境衛生施策の実施を目指して災害廃棄物処理支援体制の構築・整備を図る
安全衛生委員会	(※(公社)全国産業資源循環連合会安全衛生委員会と連携事業) 労働衛生、安全管理体制の整備確立による労働における衛生、安全環境整備並びに第三者機関に対する環境整備対策を策定し、労働環境の整備・円滑化体制に万全を期し、労働事故・災害防止の徹底を図ることとする。 ・廃棄物処理時の衛生安全管理体制企画要領の徹底 ・廃棄物の不適切物の再確認要領の徹底 ・衛生安全・事故・災害対策要領の徹底 ・作業用機械の日常の点検整備マニュアル徹底 ・衛生安全着衣の徹底 ・火気、爆発物の再点検の徹底 ・一人作業の防止及び点呼の徹底 ・その他
マニフェスト推進委員会	マニフェストシステムの適正処理推進事業 (公社)全国産業資源循環連合会と連携マニフェスト頒布事業の推進及び利便性向上とマニフェスト番号管理システムの運用啓発業務 ・廃棄物発生時の処理伝票の頒布及び運営管理 ・マニフェストの運用促進啓発 ・電子マニフェスト加盟・運用の啓発促進

## 8. (県共催)産・官・学 連携 令和4年度4ブロック研修会開催について

群馬県協会の主要事業である(県共催)産・官・学 連携 令和4年度研修会は、

- 1) 西毛ブロック(高崎会場) 高崎・藤岡・富岡・安中支部(担当連携)
- 2) 北毛ブロック(渋川会場) 渋川・吾妻・沼田支部(担当連携)
- 3) 中毛ブロック(前橋会場) 前橋・伊勢崎支部(担当連携)
- 4) 東毛ブロック(太田会場) 太田・桐生・館林支部(担当連携)

各会場は標記ブロック各支部連携担当により3年ぶりに開催。

行政機関と学界機関のご協力でご各機関から優秀な講師を派遣していただき、  
全て素晴らしく充実した講義にて、産業廃棄物の適正な処理、持続可能な循環型  
社会の構築、労働安全衛生の基本と応用などを学習できた。

受講者は、協会員はもとより各種企業団体、地方行政機関の職員も参加いただき  
意義ある研修会となった。

### 令和4年度 産・官・学連携 (県共催)4ブロック研修会開催日程等一覧表

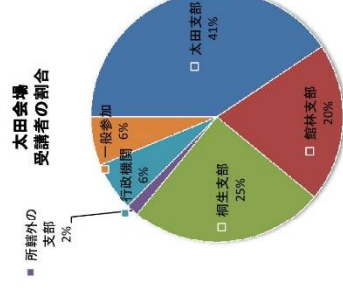
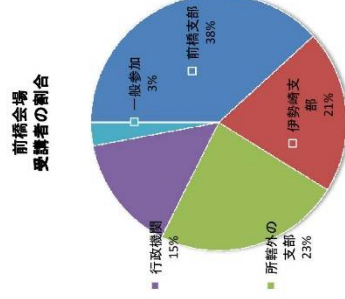
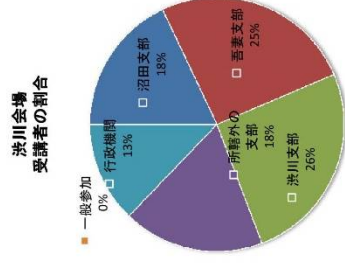
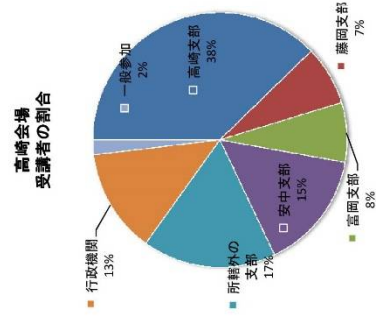
開催日時 〃 担当	会場	研修時間 (※予定)	講師	研修タイトル
11/21(月) Pm1:00 受付  [担当] 西部環境森林 事務所 高崎・藤岡・富岡 安中各支部	[高崎会場] 高崎市総合福祉 センター (たまごホール)  高崎市末広町115-1 Tel 027-370-8822	Pm 1:30～  Pm 4:00	<県警> 群馬県警察本部 生活環境課 課長補佐 磯田 展弘 氏	「群馬県内における廃棄物事犯の現状」
			<行政> 群馬県廃棄物・リサイクル課 主幹 金井 俊幸 氏	「これからの廃棄物処理について」
			<厚労省> 高崎労働基準監督署 安全衛生課長 恩田 隆吉 氏	「職場におけるこれからの 化学物質管理について」
			<学界> 量子科学技術研究開発機構 高崎量子応用研究所 先端機能材料研究部 上席研究員 広田 耕一 先生	「持続可能な開発と政策」
12/2(金) Pm1:00 受付  [担当] 利根沼田・吾妻 環境森林事務所 渋川・沼田・吾妻 各支部	[渋川会場] 渋川市民会館 (小ホール)  渋川市渋川2759 Tel 0279-24-2261	Pm 1:30～  Pm 4:00	<県警> 群馬県警察本部 生活環境課 課長補佐 磯田 展弘 氏	「群馬県内における廃棄物事犯の現状」
			<行政> 群馬県廃棄物・リサイクル課 主幹 飯塚 哲也 氏	「これからの廃棄物処理について」
			<厚労省> 沼田労働基準監督署 安全専門官 品川 伸一 氏	「事業場における 安全衛生管理について」
			<学界> 群馬大学 理工学部 教授 荏司 郁夫 先生	「環境にやさしい電子機器用はんだの 鉛フリー化動向について」
12/6(火) Pm1:00 受付  [担当] 中部環境事務所 前橋・伊勢崎 各支部	[前橋会場] 前橋問屋センター会館 (華龍の間)  前橋市問屋町2-2-3 Tel 027-251-1175	Pm 1:30～  Pm 4:00	<県警> 群馬県警察本部 生活環境課 課長補佐 磯田 展弘 氏	「群馬県内における廃棄物事犯の現状」
			<行政> 群馬県廃棄物・リサイクル課 主任 宮下 悠里 氏	「これからの廃棄物処理について」
			<厚労省> 前橋労働基準監督署 安全衛生課長 榊澤 忍 氏	「産業廃棄物処理業界における 日頃の安全衛生管理について」
			<学界> 前橋工科大学工学部 准教授 平川 隆一 先生	「河川環境の保全について」
12/12(月) Pm1:00 受付  [担当] 東部環境事務所 太田・桐生・館林 各支部	[太田会場] 太田市社会教育 総合センター (レクリエーション室)  太田市熊野町23-19 Tel 0276-22-3442	Pm 1:30～  Pm 4:00	<県警> 群馬県警察本部 生活環境課 指導官 福島 則之 氏	「群馬県内における廃棄物事犯の現状」
			<行政> 群馬県廃棄物・リサイクル課 補佐 富田 典之 氏	「これからの廃棄物処理について」
			<厚労省> 太田労働基準監督署 安全衛生課長 野口 素希 氏	「安全管理について」
			<学界> 高崎経済大学 学長 水口 剛 先生	「脱炭素と生物多様性の経済学」



# 産官学連携(県共催)令和4年度年度 4ブロック研修会 受講者数一覧

(令和4年12月12日 現在)

高崎会場	渋川会場	前橋会場	太田会場
開催日時： 令和04年11月21日(月) 開催会場： 高崎市総合福祉センターたまごホール	開催日時： 令和04年12月02日(金) 開催会場： 渋川市民会館(小ホール)	開催日時： 令和04年12月06日(火) 開催会場： 前橋問屋センター会館(華龍の間)	開催日時： 令和04年12月12日(月) 開催会場： 太田市社会教育総合センター
高崎支部 20	沼田支部 7	前橋支部 13	太田支部 26
藤岡支部 4	吾妻支部 10	伊勢崎支部 7	館林支部 13
富岡支部 4	渋川支部 10	所轄外の支部 8	桐生支部 16
安中支部 8	所轄外の支部 7	行政機関 5	所轄外の支部 1
所轄外の支部 9	行政機関 5	一般参加 1	行政機関 4
行政機関 7	一般参加 0	<b>受講者 合計人数</b> 34	一般参加 4
一般参加 1	<b>受講者 合計人数</b> 39		<b>受講者 合計人数</b> 64
<b>受講者 合計人数</b> 53			<b>受講者 合計人数</b> 190



## 令和4年度 4ブロック研修会状況



高崎会場



渋川会場



前橋会場



太田会場

## 9. (県共催)適正処理推進事業

### 不適正処理防止巡視活動の積極的展開について

(公社)群馬県協会は地域社会に密着しての事業活動は、自然環境の保全・生活環境の保全に寄与を念頭に、県下に不法投棄防止立看板を制作設置(各支部30ヶ所=12支部にて360ヶ所設置)、適正処理推進員(1支部6名=12支部72名)を協会長が委嘱しての組織の先頭に立ち、適正処理推進を掲げ「許すな不法投棄監視区域」県行政・県警察本部・市町村・協会連記の立看板の異常確認(広報設置確認済)を兼ねて、立看板設置周辺の除草整備 他不法投棄防止確認は、立看板設置間の巡視パトロール(月1回)の実施のほか処理施設・各企業の資材置場・向上周辺の巡視啓発パトロールを、各支部組織による適正処理推進事業に関する啓発巡視活動の積極的展開を実施。尚、立看板、設置場所の再配置と共に老朽化が進んだ立看板は、取り換えなどを実施した。



## 10. (県共催)全国環境美化(春・秋)活動の開催中止について

県共催事業として県行政機関の主導にて県下各地域において、全国環境美化活動が開催され、環境保全社会の形成推進を目指し各支部組織によるボランティア活動の参画は、県行政機関との連携事業として県下各地域の環境美化活動に関する積極的展開を図っている。  
本年は新型コロナウイルス感染症のため開催中止となった。

## 11. 適正処理推進事業 紙マニフェスト・電子マニフェストの頒布啓発活動の積極的推進について

適正処理推進事業の要であるマニフェスト頒布事業の推進は、(公社)全国産業資源循環連合会と(公社)群馬県協会との連携により啓発活動を推進した。発生廃棄物の管理に関する利便性向上の推進として

- 1) 紙マニフェスト・電子マニフェストの普及啓発に関して廃棄物発生の管理システムに不可欠な廃棄物処理伝票による発生品目の細目管理・統計によるリサイクル化・再資源化・減量化を図り、環境と資源の保全に寄与・循環型社会の形成構築を目指す。
- 2) 廃棄物の発生から処理までの管理システムの確立。
- 3) (公財)日本産業廃棄物処理振興センターと(公社)全国産業資源循環連合会との協議による(環境省)電子マニフェストの普及率向上を推進。

令和4年度も新型コロナ禍のため、「電子マニフェスト操作体験セミナー」は開催出来なかった。

## 12. 産・官・学連携(県共催)

### 令和4年度 第22回ぐんま環境フェスティバル開催について

- |         |  |
|---------|--|
| 1. 開催日時 | 令和5年2月18日(土)～2月19日(日)二日間開催                   |
| 2. 開催場所 | Gメッセ群馬 展示ホールにて                               |
| 3. 同時開催 | 群馬県主催「脱炭素ライフスタイルフェア」                         |
| 4. 来場者数 | 2月18日(土) 3,000名<br>2月19日(日) 3,500名 合計 6,500名 |

ぐんま環境フェスティバル実行委員会(60団体組織)主催の環境啓発イベントは、群馬県主催の「脱炭素ライフスタイルフェア」との同時開催で、Gメッセ群馬にて開催いたしました。令和2年から続いた新型コロナウイルス感染症の影響で、二年開催できず三年ぶりの開催となりました。

二日間で6,500名と多くの来場者を迎え盛大に開催できました。

来場者の多くは家族連れで、開催趣旨の一つであります、子どもから大人まで多くの県民の皆様方に一堂に会していただき、環境を見つめ直す機会として楽しく学ぶことのできる身近な環境啓発イベントを満たす開催でありました。

## 第22回ぐんま環境フェスティバル状況



オープニングセレモニー



開催事務局



会場入り口近傍



大盛況のタイルアートブース



会場全体



環境保全課ブース

### 1.3. 令和4年度廃棄物不適正処理防止啓発活

#### 動動画配信について

例年「ぐんま環境フェスティバル」と同時開催していましたが「廃棄物不適正処理防止啓発県民の集い」ですが、環境フェスティバル同様二年間開催中止となっていました。

時代の変化に合わせ令和4年度は、群馬県の動画配信サイト、及び、ユーチューブでの動画配信による啓発活動を実施した。動画の撮影場所として協会高崎支部会員の糸井商事株式会社様のご協力を得て作成して配信、好評を得た。



ユーチューブ動画の一部

#### 1 4. (公社)群馬県協会における環境保全保証基金の運用管理、並びに 県行政機関との環境保全保証基金(運用益)事業の推進について

当群馬県協会の平成元年法人化に伴う環境保全保証基金の創設(3年間にて3億円拠出事業)は、基金拠出金に関わる特別措置法損金算入により3年間に3億円の拠出達成という功績を築き上げた。

群馬県行政との連携による基金運用益事業として、下仁田町山間地域における原因者不明の不法投棄物の調査・不法投棄物の撤去事業を初事業として(県共催)不法投棄物緊急処理対策事業の名称にて蕨塚本町地域、太田市東金井地域の撤去事業、県下各地域の生態系に関わる硫酸ピッチ不法投棄物の調査・撤去事業は、行政機関をはじめ市町村行政・関係自治会・県民より高く評価をされた。

この事業は、報道機関各紙が報道取材掲載され、当協会の環境保全保証基金事業の運用管理並びに県行政機関との環境保全保証(運用益)事業推進に県民より大いに期待されている。

#### 1 5. (共催)公益社団法人日本産業廃棄物処理振興センター 産業廃棄物処理業許可取得講習会開催支援について

産業廃棄物処理業許可取得講習会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため本年もオンライン講習会(オンライン講習、試験は会場で実施)として実施となった。試験会場のソーシャルディスタンス確保のため参加人数を絞り16回実施。会場設営、開催運営に関する積極支援を図った。

#### 1 6. 優良事業者認定制度に関する推進事業の促進について

処理業界の健全・充実化促進事項

- 1) 優良事業者の資質研鑽に関する人材育成確保研修会・講習会 他 開催
- 2) 各企業のレベルアップによる組織業界の健全化推進
- 3) 関係行政機関との連携強化による研修・講習会の開催
- 4) 上部機関(公社)全国産業廃棄物連合会による優良化推進事業の促進
- 5) 電子マニフェストシステム加盟促進
- 6) エコアクション21認証取得に関する普及啓発活動の促進
- 7) 産業廃棄物の事業場外の保管事前届出制度の促進
- 8) 各企業の優良化認定制度に関する相談支援活動
- 9) その他

以上の各項目の優良事業者認定制度に関する推進活動の積極的展開を図った。

## 17. 産業廃棄物適正処理研修会－eラーニング－開催

人材育成強化推進事業として、令和元年度まで（公社）全国産業資源循環連合会と共催で実施してきた産業廃棄物処理業者研修会については、eラーニング形式で実施となった。協会員に対しては、積極参加を呼びかけた。

「産業廃棄物適正処理研修会」を実施。参加者からは好評を得た。

## 18. (県共催)産業廃棄物運搬車両一斉路上調査

### 実施に関する積極参画について

本事業は、産業廃棄物の不法投棄等不適正処理を未然に防止するため、産業廃棄物不適正処理防止広域連絡協議会（通称：産廃スクラム37）及び9都県市首脳会議廃棄物問題検討会が主催して実施している、産業廃棄物収集運搬車両の路上調査に参加協力しています。

本年度は、10月7日（金）に昨年と同じ場所の国道17号下り線、月夜野情報ターミナル駐車場で実施した。

当日は気温も低く冷たい雨の降るあいにくの天候でしたが、群馬県や群馬県警察本部、前橋市、高崎市が参加し、当協会の本部（4名）、渋川支部（4名）、沼田支部（6名）、吾妻支部（5名）の計19名が協力し、総員49名にて実施した。

#### － 記 －

実施日時 令和4年10月7日（金） Am9:30～正午  
実施場所 国道17号 下り線 月夜野情報ターミナル駐車場  
協会参加者 19名



協力いただいた協会員



車両の調査



参加者による記念撮影

## 19. 関係機関・関係団体との連携強化による 循環型社会形成啓発事業の推進

### [概要]

(公社)群馬県協会は行政機関のご指導ご支援により関係機関・関係団体と連携による行政機関をはじめ、関係機関・関係団体との連携強化による循環型社会形成に向けた、環境保全・資源循環啓発事業の推進に努めた。

## 20. 女性部会・青年部会の活動について

令和4年度の協会事業はコロナ禍にもかかわらず、重要な事業が実施でき、女性部会、青年部会ともに積極協力をいただいた。

特に3年ぶりに開催できた、当協会の主要事業である4ブロック研修会、ぐんま環境フェスティバルでは、欠かせない当協会の部会となっている。

対外活動として、女性部会は「全国産業資源循環連合会女性部会総会、及び第1回女性部会のつどい」に中心的な役割で参加した。

青年部会は「第12回カンファレンス in 岐阜」に参加、両部会ともに群馬県協会の代表として活躍し、存在感を高めた。

## 21. その他事業

1. 関係機関の事業支援について
2. 各研修会・講習会・環境啓発イベントの事業支援について

以上